

JUNCTION



CONTENTS

国際交流センター紹介	2
九州産業大学派遣留学案内	3
派遣留学生紹介	4
派遣留学生体験記	5
交換留学生紹介(受入れ)	6
交換留学生体験記(受入れ)	7
留学生会から新入留学生のみなさんへ	8
留学生の四季	9
日本語弁論大会	10
日本文化研修	11
平成24年度国際交流の歩み	12

国際交流センター紹介

Information from KSU Center for International Affairs

国際交流センターには、様々な情報がいっぱい

国際交流センターからのお知らせは、中央掲示板と国際交流センター懇話室内の掲示板に掲示しています。国際交流行事や留学生との交流行事、派遣留学関係など、様々な情報を掲示していますので、定期的にチェックしてみてください。

また、外国人留学生を対象に履歴書の書き方やエントリーシートの書き方、面接試験の受け方など、就職活動に必要な本の貸し出しもしていますので、一度借りてみてはいかがでしょうか。



留学を目指している方、必見!

国際交流センターには、留学に関する雑誌をたくさん置いています。雑誌の閲覧は全て自由ですので、気軽に立ち寄ってみてください。また、随時、留学に関する相談も受け付けていますので、気軽に声をかけてください。



国際交流センターには、留学生が毎日来ており、留学生と話す機会を容易に持つことができます。派遣留学や私費留学に興味がある方は、ぜひ国際交流センターにお立ち寄りください。担当者が、懇切かつ丁寧に留学のアドバイスをします。



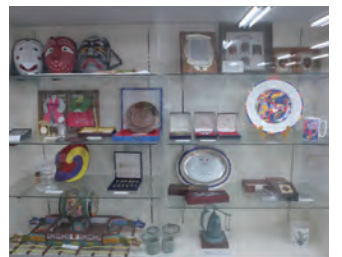
国際交流センター談話室で、留学生と異文化交流してみたいかが?



現在、九州産業大学には、500人を超える留学生が在籍しています。留学生の内訳は、その9割が中国からの留学生で、その他に韓国、台湾、ネパール、ベトナム、マレーシア、バングラデシュ、イギリス、ドイツ、フランス、アメリカ、タイ、ブラジルなどから留学生が来ています。国際交流や語学に興味のある方は、留学生と異文化交流してみたいかがですか。

展示ケースには、海外のお土産や、記念品がいっぱい

国際交流センターの展示ケースには、中国や韓国をはじめ、イギリスやフランスなどの協定校からのお土産や記念品が沢山飾ってあります。展示物の中には、中国の茶器や韓国の仮面劇のお面、民族衣装、文房具、遊具など珍しい品々が取り揃っており、他国の伝統、芸術、文化等を楽しむことができます。



留学生チューター制度がスタートします!



日本語が解りづらかったり、聞き取れなかったりする留学生に朗報です。国際交流センターでは、そのような留学生のために、本年度、新たに留学生チューター制度を設けました。この留学生チューター制度とは、日本人学生が、留学生に日本語や生活上のサポートを行うものです。友達もできやすくなります。留学生、日本人学生のみならず、奮ってご利用ください。

ホームページの紹介

国際交流センターには、国際交流行事や留学生会行事、派遣留学に関する情報などをホームページで紹介しています。内容は、随時更新していますので、活用してください。



<http://www.kyusan-u.ac.jp/J/international/>

留学生アドバイザーを紹介します

国際交流センターには、留学生のために、勉学の悩みから生活上に至る様々なことについて相談に乗ってくれる留学生アドバイザーがいます。

中国出身の呂堯(ロギョウ)さんです。呂堯さんは、一昨年、本学の経営学部産業経営学科を卒業され、その後、留学生アドバイザーとして国際交流センターで仕事をいただいています。その豊富な知識と経験を基に丁寧にアドバイスしますので、気軽に声をかけてください。



呂堯(ロギョウ)さん

九州産業大学派遣留学案内

Guide of Studying Abroad

■ 文系学部 交換留学協定校 ■

アメリカ



アビリン・クリスチャン大学
http://www.acu.edu/

イギリス



リーズ・メトロポリタン大学
http://www.lmu.ac.uk/

イギリス



オックスフォード・ブルックス大学
http://www.brookes.ac.uk/

フランス



リール・カトリック大学
http://www.univ-catholille.fr/

韓国



東亜大学校
http://ent.dongguk.ac.kr/

韓国



東国大学校
http://www.dongguk.edu/

中国



中国人民大学
http://www.ruc.edu.cn/

■ 芸術学部 交換留学協定校 ■

フランス



ボルドー美術学校
http://www.bordeaux.fr/

ドイツ



シュトゥットガルト造形美術学校
http://www.abk-stuttgart.de/

九州産業大学では、経済学部、商学部第一部・第二部、経営学部、国際文化学部の学部生を対象とし、8月から翌年1月までの約6か月間(派遣先大学により異なります)、派遣留学生として交換留学協定校に派遣しています。

また、芸術学部の学部生を対象に芸術文化交流を目的とした交換留学制度があり、ドイツへは10月から翌年2月までの約5か月間、フランスへは隔年で9月から12月までの3か月間、学生を派遣しています。

(※交換留学協定校については平成25年4月現在)

派遣留学生になるには？

1. 留学フェア・派遣留学報告会に行こう！

国際交流センターでは、留学フェアや派遣留学報告会などを開催しています。留学した先輩の話の聞いたり、疑問点を質問したりと、留学実現へ近づく第一歩です。漠然と留学を考えている人も、気軽に参加してください。各イベントの日程などはK's Lifeや掲示板でお知らせします。

2. 語学力に磨きをかけよう！

派遣留学生になるには、語学試験を受けなければなりません。早め早めに学習を始めれば、必ず結果はついてきます。少しずつ、語学力アップに向けて取り組んでみましょう。

3. 派遣留学募集説明会に行こう！

派遣留学説明会では、選考試験のスケジュールや内容、奨学金、派遣先大学の最新情報などをお知らせします。興味のある人はぜひ参加して下さい。

4. 願書提出～選考試験(書類・語学試験・面接)

派遣先大学に応じた必要な語学試験、面接後、派遣留学生が決定されます。その年に合格できなくても、出願資格がある限り何度でもチャレンジできます。学生の間だけのこのチャンスを利用して、ぜひ派遣留学に挑戦して下さい。

派遣留学選考内容等(平成25年度)

対象学部	国	派遣先大学	派遣期間(予定)	選考内容
経済学部 商学部第一部 商学部第二部 経営学部 国際文化学部	アメリカ	アビリン・クリスチャン大学	平成25年8月～平成26年1月	書類選考・TOEFL ITP・面接
	イギリス	リーズ・メトロポリタン大学	平成25年8月～平成26年1月	書類選考・TOEFL iBTスコア53以上・面接
		オックスフォード・ブルックス大学	平成25年8月～平成26年1月	書類選考・TOEFL iBTスコア50以上 ^{*1} ・面接
	フランス	リール・カトリック大学	平成25年8月～平成26年1月	書類選考・フランス語筆記試験・面接
	中国	中国人民大学	平成25年8月～平成26年1月	書類選考・中国語筆記試験・面接
芸術学部	韓国	東国大学校	平成25年8月～平成26年3月	書類選考・韓国語筆記試験・面接
		東亜大学校	平成25年8月～平成26年2月	書類選考・韓国語筆記試験・面接
芸術学部	ドイツ	シュトゥットガルト造形美術大学	平成25年10月～平成26年2月	書類選考・TOEFL ITP・面接
	フランス	ボルドー美術学校	平成25年10月～平成25年12月	書類選考・TOEFL ITP・面接

*1 各セクションごとに必要なスコアの条件があります。詳細は国際交流センターまで。

平成24年度派遣留学生紹介

KSU Exchange Students

■リバプール・ジョン・モーズ大学(イギリス)



みやざき せいら
宮崎 聖果
経済学部経済学科3年
(刈谷東高校出身)



しょう まなみ
庄 真菜美
国際文化学部国際文化学科3年
(大分雄城台高校出身)



にしむら みほ
西村 美帆
国際文化学部臨床心理学科3年
(九州国際大学付属高校出身)



くま りょうた
隈 亮太
国際文化学部国際文化学科4年
(東鷹高校出身)

■アビリン・クリスチャン大学(アメリカ)



おおじ ゆうか
大路 優花
経済学部経済学科3年
(第一薬科大学付属高校出身)



さわたり みや
佐渡 美耶
国際文化学部国際文化学科3年
(小国高校出身)

■中国人民大学(中国)



なかの みな
中野 美菜
経営学部国際経営学科2年
(玄界高校出身)



もりおか さいこ
森岡 冴子
経済学部経済学科3年
(北九州市立高校出身)

■東亜大学校(韓国)



つじりかこ
辻 莉加子
商学部第一部観光産業学科3年
(九州産業大学付属九州高校出身)



うえの ゆか
上野 由香
国際文化学部日本文化学科3年
(松陽高校出身)

■東亜大学校(韓国)



かわづ あやか
河津 綾香
国際文化学部国際文化学科2年
(筑紫女学園高校出身)

■シュトゥットガルト造形美術大学(ドイツ)



いかわ まな
井川 真奈
芸術学部デザイン学科4年
(田川高校出身)



韓国の民族衣装(チマチョゴリ)を着た筆者(左から2番目)

留学生生活を振り返って

かわづ あやか
河津 綾香

国際文化学部国際文化学科2年
派遣留学先: 東亜大学校(韓国)

私は2012年の9月から2013年の2月までの半年間、韓国釜山にある東亜大学校に留学させて頂きました。そこで様々なことを学び経験し、とても充実した日々を送ることができました。

東亜大学校では、韓国語の中級1・IIクラスを週5日、日本観光研究という学部の授業を週2日受講しました。

留学当初は伝えたいことがあっても言葉が出てこず、また聞き取ることも難しく、自分の韓国語に全く自信がありませんでした。しかし授業に集中して取り組み、出された課題をこなしていくうちに、簡単な作文を書いたり、韓国ドラマや映画を字幕なしでも、ある程度理解できるようになったり、韓国人の友人とも意思疎通が図れるまでになりました。また、前期のクラスでは私を含め日本人学生が2人、後期では日本人が私1人だけだったため、必然的に韓国語を話さなければいけない環境となり、それが会話力を向上させる良いきっかけとなりました。

学部の授業では、グループでの発表以外の時間はほとんど韓国語のみで行われました。さらに、私以外の学生は全員韓国人だったため、授業についていけない不安でした。しかし、一緒に授業を受けた韓国人の先輩方が本当に親切に接して下さいました。特に試験前は、私のために試験範囲などを分かりやすく教えてくれるなど、本当にたくさん助けていただきました。実は最初は学部の授業を受けるかどうか迷っていたのですが、現地の韓国人の学生とも親しくなれ、韓国の大学の授業も体験することができたので、履修して本当に良かったと思います。

これから留学をする方は、どんなことでもいいので、これだけは!という目標を持って留学に臨んでください。目標を持つことによって、さらに価値のある留学生活を送ることができると思います。そして、勉強する時は一生懸命勉強し、遊ぶときは遊んで、限られた時間を有意義に使い、とにかく楽しい毎日を送ってほしいと思っています。慣れない海外での生活は大変なこと、つらいことも当然あると思います。また、文化の違いに戸惑ったり、悩んだりすることもあるかもしれません。しかし、海外で半年間も生活するという事は本当に貴重な経験です。留学を終えた今、身を以て実感しています。留学して家族と離れて生活したことで、家族の大切さに改めて気付かされました。また、他の国から来ている留学生達と共に生活していく中で、彼らが持つ多種多様な考え方に触れたことによって、広い視点で物事を考えることができるようにもなりました。

このような留学経験を通して、私は自分に自信を持つことができるようになりました。そして、失敗を恐れずに何事もまずはやってみようということが大切なのだということを学びました。留学を終えた今、私の次なる目標は、身につけた韓国語能力を落とすことなくさらに向上させ、大好きな韓国と関わりのある仕事に就くことです。この目標を実現させるためにも、この留学で学んだことを忘れずに、積極的に挑戦して頑張っていきたいと思っています。

派遣留学生体験記

Outbound Exchange Program



ホームカミングパレードにて(筆者写真中央)

私が派遣留学で得たこと

おじ ゆうか
大路 優花

経済学部経済学科3年
派遣留学先:アビリン・クリスチャン大学(アメリカ)

私は2012年の8月から12月まで派遣留学生としてアビリン・クリスチャン大学に留学させて頂きました。ほんの5か月間でしたが、多くのことを学ぶことができました。

留学期間で一番の大きな成長は、やはり英語です。留学当初は、授業で先生が何について説明しているかを理解することさえ必死でした。またある授業では、私達が現地の人に英語でインタビューをしました。私はその授業がとても苦手でした。しかし、実際に話しかけてみると、みんな優しく答えてくれて、非常に良い経験となりました。

こうして1ヵ月ほど経った頃から、授業の内容はスムーズに理解できるようになってきました。また現地の人達とも、たどたどしくではありますが、会話ができるようになってきました。アビリン・クリスチャン大学の人達は本当に優しい方ばかりで、私が理解できるまで話しかけてくれたり、宿題で分からないところを教えてくれたりしました。

3か月が過ぎる頃には、自分の言いたいことはある程度言えるようになりました。そして留学期間後半に差し掛かった頃には、アメリカ人の友人と一対一でもなんとか会話ができるくらいの力は身に付きました。

ものすごく話せるようになったという訳ではありませんが、日本に帰ってきた今、英語力は、留学に行く前よりは確実に上達したと実感しています。

次に成長したと思うところは、行動力が身に付いたところです。留学当初は、レストランで注文することさえ躊躇していました。私の英語が通じなかったら恥ずかしいという思いがあったからです。特に“水”という単語は発音が難しく、うまく伝わりませんでした。しかし、“こんなことではいけない、何か行動しなくては”と思うようになりました。それを踏まえ、例えばスーパーでレジの方が話しかけてきたら、私からも少し会話をするようにしました。また、これは自分でも驚いたことなのですが、アメリカにある会社に自分の履歴書を持って行きました。これは友人に背中を押されてできたことだったのですが、結果的にその会社からは良いお返事を頂くことができ、本当に持って行って良かったと思いました。この経験から、実際に行動に移すことはとても大切だと実感しました。恥ずかしがることはマイナスにしかありません。

私の今後の目標は、英語力を下げないようにすることです。日本に帰国したことで英語を使う機会は少なくなりますが、アビリン・クリスチャン大学の友達と連絡をとったり、福岡でも英語を話す機会をたくさん作ったりしていきたいです。もちろん英語の勉強は継続していきます。そして、ニューヨークで得たインターンシップのチャンスに向かって頑張ります。このチャンスを絶対に逃しません。夢を現実にする、それが私のこれからの更なる目標です。

卒業生からのメッセージ



観光で訪れたネパール・エベレストにて

ふくい あやか
福井 彩加

2012年 芸術学部デザイン学科卒業
現在の職種:客室乗務員
出身高校:福岡工業高校

私は大学3年次に、芸術学部の派遣留学生としてドイツへ留学しました。

現在はデザインとは別の道に進んでいますが、私がドイツで得たものは、今でも私の人生における考え方の指針となっています。それは「自分の常識は、自分にしか通用しないものであり、どの生き方が正解かなどということは、自分の価値観で決め

るしかない」という考え方、そして「やりたい事はやってみよう」というシンプルな行動基準です。

異文化の中での生活を通して、「出来る訳ない」「常識はずれだ」と思っていたことも、実際はやる前から諦めてしまっていることも、常識という壁を作ってしまったことも、全て自分だったのだと気づくことができ、自分に素直に行動できるようになりました。

ドイツ留学を終えてすぐ、私は、世界一周の一人旅をするため1年間の休学届を出しました。

「バックパックひとつで、自分で全ての旅程を手配しながら旅をする」

以前からの夢でしたが、留学をきっかけに、実行する決心がついたのです。ドイツで過ごしていた時や、世界の国々を回っている時、日本にいる時とは比べ物にならない程「自分が日本人である」という事を強烈に意識しました。

そして、日本の文化や習慣の中には、すぐれたもの、素晴らしいものが沢山あることを実感し、それがいつか「世界中の人々に、もっと日本のことを知ってほしい」という思いになりました。

今、私が客室乗務員として働いているのは、

留学や旅を通して、そういった考え方を得られたからに他なりません。

そして社会人1年目にして客室乗務員への転職に挑戦する勇気が持てたのも、自分の中の「常識」に邪魔されることがなかったからだと思います。

留学は、それだけで人生を劇的に変えてくれるものではありませんが、自分の成長に繋がる「きっかけ」にはきっと出会えると思います。行かない理由を探せばかりいと、学生生活はあっという間に終わってしまいます。

「行ってみたい」とも思ったならば、是非その気持ちに素直になって、挑戦してみてください。



派遣留学当時(筆者は2段目の左から2番目)

平成24年度交換留学生紹介(受入れ)

Overseas Exchange Students

平成24年度は8名の交換留学生を九州産業大学に受け入れました。

■東亜大学校(韓国)



受入学部:商学部

ホン ジス
洪 智受

交換留学期間: H24.4~H24.8

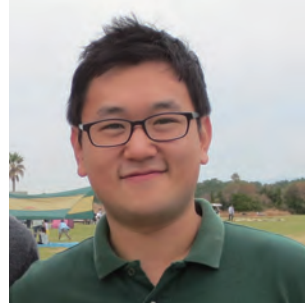


受入学部:商学部

アン ジンヨン
安 鎮永

交換留学期間: H24.4~H24.8

■東国大学校(韓国)



受入学部:国際文化学部

オム サンソブ
嚴 上燮

交換留学期間: H24.9~H25.2



受入学部:経済学部

パン ソンミン
潘 省旻

交換留学期間: H24.9~H25.2

■リバプール・ジョン・モーズ大学(イギリス)



受入学部:経営学部

ヨウ ジマン
楊 梓民

交換留学期間: H24.9~H25.8



受入学部:芸術学部

シャット サミュエルマーク

交換留学期間: H24.9~H25.8

■ボルドー美術学校(フランス)

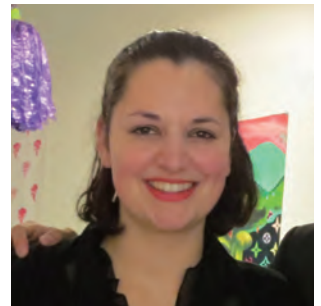


受入学部:芸術学部

バレ エバ

交換留学期間: H24.10~H24.12

■シュトゥットガルト造形美術大学(ドイツ)



受入学部:芸術学部

ステインバウアー リサ クリスティーン

交換留学期間: H24.9~H25.2



開催ポスター

展覧会「A SO DESU K」を開催しました!

平成24年12月1日~2日の2日間、交換留学生のステインバウアー リサ クリスティーンさん(ドイツ)とバレ エバさん(フランス)が、九州産業大学で学んだことを活かして、芸術学部アートギャラリーで展覧会を開催しました。かんざしや扇、まげなど、日本をモチーフにした様々な作品が並び、2日間という短い時間でしたが多くの学生、関係者が訪れました。



アートギャラリーでの展覧会の様子

交換留学生体験記(受入れ)

Experience of Studying at KSU



新入留学生歓迎バスハイクにて(筆者は右から2番目)

ホン ジス
洪 智受

協定校: 東亜大学校(韓国)

受入れ学部: 商学部

受入れ期間: 平成24年4月~平成24年8月

私は高校生の時に第二外国語としての日本語に出会い、大学で日本語を本格的に学び始めました。韓国では日本語を使う機会が全くなかったため、私の日本語のレベルがどれくらいか試してみたいと思い、交換留学制度を利用して九州産業大学に来ました。

日本に来る前、自分の中で目標を3つ作りました。

1つ目は、私の専攻である「観光」を日本からの視点で学ぶこと、2つ目は日本語能力を上げること、そして3つ目は日本の友達をたくさん作り、日本文化体験をたくさんするという事です。

1つ目の目標は、専門の授業を受けたことで達成できたと思います。中でも航空業界を学ぶ授業は、通常の航空関連の授業とは違い、直接、航空業界で活躍している方々が授業をして下さり、また最後には、空港見学をして、実際に飛行機内で実習する機会がありました。この授業をはじめ、観光に関連する授業は韓国と比べると実習の授業がとて多くて、体感的に学ぶことができました。

2つ目の目標の日本語力は、日本に来た瞬間から日本語だけの生活になったので、かなり上達したと思います。ゼミナールではクラスの友人とテーマを決めて、一緒に調査し意見を発表しなければならなかったため、日本語を学ぶのにすごく役立ちました。また、九産大を訪問する韓国の学生の通訳をする機会もあり、通訳の

難しさを感じました。

最後の目標は、5ヵ月という短い間でしたが、友人と一緒に本当に多くの経験をする事ができたと思います。韓国に関心のある友人と一緒に話したり、遊びに行ったりする機会が多くありました。友達から自然に若者ことばや方言などを教わり、どんたくや花火大会など日本のお祭りも体験して、日本の文化を直接感じる事ができました。また、日本だけでなく、イギリス、中国、台湾の人たちと友達になって、その国の文化なども学ぶ事ができました。

私は今回、日本に来て、日本語・日本文化だけでなくいろいろなことを学びました。何よりも日本語で交流することがこんなに楽しいことだとは知りませんでした。日本での留学生活は私の人生にとって大きな転換点になったと思います。世界を見る目をもっと広がったし、日本留学を通して、日本にもっと興味を持つようになりました。人生の中で、日本語を学んで、日本に来ることができて、本当に良かったと思います。

先輩留学生からの声

チョウ グンミョウ
張 軍苗

協定校: 中国人民大学(中国)

受入れ学部: 国際文化学部

受入れ期間: 平成23年9月~平成24年8月



交換留学当時(平成24年)

Q. 九産大の印象は?

自然がきれいな大学だと思いました。春に満開になる桜は今でも夢に出てくるほどです。九産大の先生方はみんな熱心で素晴らしい、とても優しく接してくれて、本当に感謝しています。交換留学生として九産大に来れたことは幸せでした。

Q. 九産大では、どのようなことを学ばれていたのですか?

九産大では国際文化学部所属し、日本語・日本現代文学・日本古典文学などを学びました。古典文学・民話などはとても興味深く、面白かったです。中国の友人に、何か日本について面白いものがあるかと聞かれたら、私はいつも河童の話をするようにしています(笑)

Q. 今はどのような活動をされていますか?

中国人民大学の大学院に進学し、日本文化と日本文学を学んでいます。中でも東野圭吾さんの作品を研究しており、いろいろな作品を読んでいます。東野圭吾さんの小説は中国でも人気があり、小説で描かれる社会と人間についての考えは中国の読者にも大きな影響を与えています。これからもっといろいろな作品を読んで研究を続けていくつもりです。

Q. 留学した経験はどのように活かされていますか?

授業で学んだ日本語音韻論や『雨月物語』や『源氏物語』などの古典文学は、大学院での研究で役に立っています。1年間の日本留学のおかげで、キャンパスでのインターンシップも経験でき、今は塾で日本語講師もしています。

それと、日本から帰ってきて中国で改めて思うことがあります。中国の大学生は「勉強が全て」という文化の中で大学生活を送っていますが、日本の大学生は部活やアルバイトができ、たくさんの人々と付き合い、社会経験を積むことができます。それはとても幸せなことです。ぜひ大学生という限られた時間を無駄のないように過ごしてください。

ジョン ジグワン
鄭 智洙

協定校: 東亜大学校(韓国)

受入れ学部: 芸術学部

受入れ期間: 平成21年9月~平成22年2月



↑交換留学当時(平成21年)
(筆者は右から2番目)

ロサンゼルス
デザイン事務所にて↓

Q. 九産大の印象は?

福岡と釜山の雰囲気が似ていたため、すぐに大学生活に慣れることができました。他のどの大学と比べても負けない設備、機材などに恵まれ、情熱さえあれば自分の能力を最大限に生かすことができる素晴らしい大学です。先生方も、とても熱心に指導して下さいました。

Q. 九産大では、どのようなことを学ばれていたのですか?

九産大に留学した当時、私は東亜大学校の工芸学科の3年生で、デザインを学んでいたのですが、より専門的にデザインを学べる環境が九産大にはあったので、この大学を選びました。スペースデザインやウェブデザイン、材料加工実習の授業では椅子を製作しました。

Q. 今はどのような活動をされていますか?

九産大で得た留学経験を活かし、今はロサンゼルスにある会社でデザインの仕事をしています。担当はグラフィックです。

Q. 留学した経験はどのように活かされていますか?

私はデザインを勉強する学生として九州産業大学へ来たことは、非常に幸運だったと思います。私のほかに中国や韓国、イギリスからも交換留学生が来ていました。彼らとはよく一緒に集まって食事をし、会話も日本語だったのですが、そのこと自体が非常に印象的で楽しく、自然と交友関係も広がり、それが私にとって大きな財産となりました。

当たり前のことですが、留学は全てのことを自分で行わないといけない状況にあります。もし、九産大での留学生活を経験していなければ、今のアメリカでの生活は実現できていなかったと思います。九産大で、学んだ知識、日本独自の文化、独特な感性は今でも私の仕事や生き方に大きな影響を与え、留学したという経験が今、アメリカでの生活の大きな糧となっています。

留学生会から新入留学生のみなさんへ

Greetings from International Students Union

新入留学生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

私は、平成24年度九州産業大学留学生会会長の王峰と申します。

皆さんは、故郷を離れ、それぞれの夢や希望を持って日本へ留学し、九州産業大学に入学したと思います。大学入学は、新たな自分の人生の第一歩と頑張って下さい。大学へ入学しても、最初はもうどうしたら良いかわからないかもしれません。

まずは日本語をしっかりと勉強し、きちんと単位を取って下さい。それは学生としての義務です。

そして、自分の趣味や好きなこと

でいいので、何か一つ、とことん深く追求してみてください。結果を問わず、目標を決めて充実した大学生活を送ってください。

私たち留学生会は皆さんが力を発揮できる舞台を準備しています。大学では、日本語弁論大会、サッカー大会、学園祭での模擬店、異文化交流行事、日本文化研修などの様々なイベントがあります。これらの行事は、各国の人々と交流したり、異文化に触れることができる良いチャンスです。ぜひ積極的に参加してください。

また、他国から来た留学生との交流や、その文化に接することで

自分の考えや自国文化の思想だけでなく、他の考え方や文化があるということがわかります。それは視野を広げ、自身の成長に繋がることと思います。

最後に「運が良くなければ、いくら努力しても成功しません。運が良ければ、あまり努力せず成功します。」という言葉があります。しかし、私は自分の努力が、運を引き寄せるのだと思います。

一生懸命頑張って、皆さんが人生の目標を実現できるよう、心より祈っております。



平成24年度九州産業大学留学生会会長
オウホウ

王峰 (中国)

国際文化学部日本文化学科4年



福岡県留学生会サッカー大会



バーベキューパーティー



香椎祭で模擬店出店

母国料理紹介

本学の学園祭で毎年好評のネパールカレーを紹介します。

ネパール出身の留学生が、母国での家庭の味を再現したカレーのレシピです。ご家庭で、ぜひお試しください。



【材料】 ※5～6人分

鶏肉(600g)

玉ねぎ(3個)

トマト(2個)

サラダ油

コリアンダーの葉

水(適量)

★カレー粉(大さじ1.5)

★ガラムマサラ(小さじ1)

★ターメリック(小さじ1)

★しょうが、にんにく(すりおろし大さじ1)

【作り方】

- ①★を少量の水で混ぜ合わせる。
- ②玉ねぎをみじん切りにする。
- ③鍋にサラダ油をひき、鶏肉を炒める。
- ④鶏肉に焼き色がついたら、玉ねぎを加えてしばらく炒める。
- ⑤弱火にして蓋をし、肉汁がでてきたら★を入れて混ぜる。
- ⑥トマトと水を加え、煮込む。
- ⑦最後にコリアンダーの葉を入れる。

※カレー粉には、すでにスパイス入りのものがありますので、使用する際にはカレー粉の原材料を確認してから、調味料の量を加減してください。

(注)掲載している学年は、平成24年度のもです。

留学生の四季

Quarterly Journal of International Students

本学では11ヵ国528人(平成24年5月1日現在)の留学生が、遠く故郷を離れ、それぞれ目標に向かって勉学に励んでいます。留学生同士、日本人学生、地域住民の方々との親睦を深めるため、本学では、留学生会が組織されており、様々な交流活動を実施しています。



留学生会定例総会 2012.4.26(木)



新入留学生懇談会 2012.5.15(火)



新入留学生歓迎バスハイク 2012.5.27(日)



在留生活指導会 2012.5.15(火)



香椎祭模擬店出店 2012.11.2~4



日本語弁論大会 2012.12.8(土)



日本語弁論大会懇親会 2012.12.8



日本文化研修 2012.12.16(日)



バーベキューパーティー 2012.10.6(土)

|||||バーベキューパーティーに参加して|||||

芸術学部デザイン学科研究生 佐藤 美紀

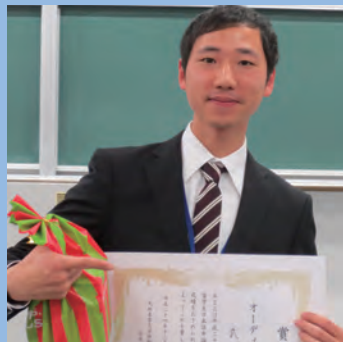


初めて国際交流のバーベキューに参加し、九産大に在学している留学生の多さに驚きました。出身や専攻は様々でしたが、それぞれの話を聞くのはとても楽しく、すぐに距離が縮まりました。これを機会に、普段なかなか出会うことのない学生とも交流ができ、とても充実した経験ができたと思います。

日本語弁論大会

Japanese Speech Contest

今回は数ある発表の中から、自身の苦労話をユーモア溢れるスピーチで披露し、オーディエンス賞を受賞した武博(ブハク)さんの発表を紹介します。



ブハク
武博(中国)

商学部第一部観光産業学科2年

「お宝のような魚の骨の物語」

私が日本に来て1週間も経っていなかった頃に経験した、のどに魚の骨が刺さって病院に行った時のことについて話そうと思います。

その日、ルームメイトが魚料理を作ってくれたのですが、正直私は魚があまり好きではありませんでした。ただ食べないとルームメイトに悪いと思って、食べることにしました。

するといつの間にか喉に魚の骨が刺さっていて、翌朝になってもまだ残っていました。これはまずいと思い、学校の先生にどうすれば良いか聞くために学校へ行きました。しかし、学校行事のため先生や生徒はみんなそこにはおらず、仕方がなく地図を見ながら自分1人で病院に行くことにしました。

すれ違う多くの人に道を尋ねながら病院に向かっていくと、あるかわいいお姉さんが病院まで連れて行ってくださることになり、ほっとしました。

病院に着いた私は、日本語が全然話せなかったのも、英語や身振り手振りで、30分かけてようやくお医者さんに事情を伝えました。

しかし、ただ骨を抜いてくれたら良いだけなのに、お医者さんは難しい顔をして、「これは大変だ、もっと大きな病院に行ってください。とりあえず、学校の先生に連絡しますから。」と言いました。事情を聞いた担任の先生は、日本語が話せる中国人の先輩も連れて来て、車で一緒に大きな病院に行きました。

病院に着くと、本当に骨を抜くだけなのに、診察室にはお医者さん、担任の先生、先輩、私の4人もいました。お医者さんは「口を開いて」と言うと、ほんの一瞬で魚の骨をびゅっと取ってしまいました。お医者さんは「見ろ取ったぜ」と言いたそうな顔をして、担任の先生は「本当にありがとうございました。武博さん無事でよかったわ。」と言いました。「これは大袈裟やろ、死ぬ訳じゃあるまいし」と心の中でつぶやきました。

結局、骨を取るために半日を費やし、1万円もかかりました。

しかし、この苦い体験をきっかけに、日本語の大事さを身にしみて感じ、「早く日本語を話せるようになりたい」と強く思いました。

あの出来事から4年が経った今でも、あの魚の骨を大切に保存しています。たくさんの人に助けられたからこそ、1つのことを乗り越える事が出来たのだという気持ちが心の中に残っています。

日頃の日本語学習の成果をスピーチに込めて!

平成24年12月8日(土)に「留学生による日本語弁論大会」が開催されました。今年で5回目を迎えた日本語弁論大会では、17人の留学生が発表を行いました。留学生各々が感じた自国と日本の違いや、留学生活から学んだ事、はたまた苦労話などのスピーチを聞くことができ、会場は笑いと感動に包まれ大いに盛り上がりました。

日本語弁論大会発表者



- | | | |
|---|--|--|
| 
最優秀賞
オム サンジュプ
嚴上燮
(韓国)
国際化学部交換留学生
「香椎祭で習ったこと」 | 
優秀賞
カドカ マノジ
(ネパール)
商学部第一部観光産業学科3年
「届けたい幸せ」 | 
奨励賞
パン ソンミン
潘省叟
(韓国)
経済学部交換留学生
「日本の番組の特徴および韓国の番組との比較」 |
| 
オーディエンス賞
コウ コウエイ
黄虹璋
(台湾)
商学部第一部観光産業学科1年
「日本の文化とマナーについて」 | 
オーディエンス賞
ブ ハク
武博
(中国)
商学部第一部観光産業学科2年
「お宝のような魚の骨の物語」 | 
シャット サミュエル マーク
(イギリス)
芸術学部交換留学生
「エヴァンゲリオン新劇場版:Q」 |
| 
ダンミン タオ
(ベトナム)
経営学部国際経営学科2年
「成長する気持ちの共有」 | 
トウ コクコン
董国昆
(中国)
経営学部国際経営学科2年
「握手だけでも、短編映画のよう」 | 
パレ エバ
(フランス)
芸術学部交換留学生
「ホルダーについて」 |
| 
キン リウヘイ
金龍哲
(中国)
国際化学部国際化学科3年
「おやじ」 | 
リウ エンリョウ
劉焱龍
(中国)
商学部第一部商学科2年
「日本での留学生活」 | 
ダオティ ホアイトゥーン
(ベトナム)
経営学部国際経営学科2年
「成功の話」 |
| 
カ ケツ
何潔
(中国)
経済ビジネス研究科修士1年
「日本に来て初めて知りました」 | 
カンデル スリエ プラサド
(ネパール)
経営学部国際経営学科2年
「先進国の国々と親子関係」 | 
エン セツ
間雪
(中国)
経営学部国際経営学科2年
「留学体験」 |
| 
チョウ エンカ
張延華
(中国)
商学部第一部商学科3年
「日中関係と中国人留学生」 | 
チョウ エンケイ
趙艶傑
(中国)
経営学部産業経営学科3年
「留学中学んだこと」 | |

(注)掲載している学年は、平成24年度のものであります。

日本文化研修

Japanese Cultural Tour

平成24年12月16日(日)に、留学生日本文化研修を実施しました。第2回目となる今年度の研修地は多くの歴史と文化が息づく山口県。留学生は「洞春寺山門・観音堂(重要文化財)」と「瑠璃光寺五重塔(国宝)」を見学し、「重源の郷」では機織り・紙すき・竹細工・藍染めなどの民芸細工に挑戦しました。日本の歴史や文化、自然を肌で感じ、充実した研修となりました。



瑠璃光寺五重塔



水掛け地蔵



洞春寺山門

民芸細工体験

竹とんぼ作り



紙すき



機織り



藍染め



参加留学生の感想



オム サンヨン
嚴 上燮

国際文化学部交換留学生
(韓国)

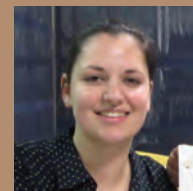
この研修で、日本についてより深く知ることができました。重源の郷では竹細工を体験しました。竹とんぼを作る工程はとてシンプルで、竹をプロペラの形に切って串をさすだけなのですが、想像以上に高く速く飛んで驚きました。屋根の上までまっすぐ飛んでいくのを見ていると、自分の心も子供のころに戻って、懐かしい気持ちになりました。



ソウ ウンセイ
曹 云静

経営学部国際経営学科3年
(中国)

私はこの研修で初めて山口県に行きましたが、日本の歴史に触れることができ楽しかったです。先日、瑠璃光寺五重塔で撮った写真をはがきに貼って友達に出しました。同じ留学生でも学部が違うとなかなか話すチャンスがないのですが、この研修で新しい友達もできました。またこのような行事があったらぜひ参加したいです。



ステインバウアー
リサ・クリスティーン
芸術学部交換留学生
(ドイツ)

半年間という短い交換留学期間の中で、この研修に参加できてよかったです。日本のお寺や自然を見学でき、民芸細工体験では紙すきを体験しました。今までいろいろな芸術に触れてきた中で和紙作りは初体験!切り紙で模様を入れて、かわいい和紙を作ることができました。和紙は母国のドイツにはないので、大切に持って帰って、自分の作品に活かそうと思っています。

平成24年度国際交流の歩み

The Chronicle of KSU International Exchange in 2012

平成24年度は以下の国際交流協定校等と学生・教職員の受入れ・派遣を行いました。この学生交流・教員交流・学術交流を通して、友好の絆は、ますます深まりました。なお、平成24年度の主な国際交流の実績は、以下のとおりです。

受入れ

■サイプレス大学(アメリカ)

日程:平成24年6月3日(日)～6月27日(水)
目的:日米学生間の学習、文化交流と
福岡市内での日本文化体験と研修
受入れ:学生6人・教員2人
高橋 真理枝 教授
樋口 なつ代 講師

■アピリン・クリスチャン大学(アメリカ)

日程:平成24年6月12日(火)
目的:交換留学概要説明、施設見学のため
受入れ:教員1人
ダニエル ガルシア 国際交流部所長

■忠南大学校経商大学(韓国)

日程:平成24年6月22日(金)～6月26日(火)
目的:学生・教員交流のため
受入れ:学生31人・教員3人
金 亨俊 教授
李 炳采 教授
金 有廷 助教

■東西大学校デザイン学部(韓国)

日程:平成24年7月2日(月)～7月6日(金)
目的:学生・教員交流のため
受入れ:学生30人・教員2人
李 明姫 教授
金 海潤 教授

■中国人民大学(中国)

日程:平成24年7月17日(火)～7月18日(水)
目的:学術・教員交流のため
受入れ:教員1人
申 淑子 教授

■上海工程技術大学芸術設計学部(中国)

日程:平成24年7月17日(火)～7月24日(火)
目的:学生・教員交流のため
受入れ:学生23人・教員6人
張 傑 教授
王 如儀 教授
金 鶴 准教授
劉 從蓉 教師
張 笑秋 教師
王 自強 教師

■蔚山大学校デザイン大学(韓国)

日程:平成24年7月27日(金)～8月4日(土)
目的:学生・教員交流及び集中講義受講のため
受入れ:学生39人・教員2人
李 揆泊 教授
全 聖福 教授

■天津大学(中国)

日程:平成25年3月26日(火)～3月30日(土)
目的:学術・教員交流のため
受入れ:教員2人
王 鉄成 教授
趙 海龍 講師



上海工程技術大学学生・教員受入れ

派遣

■東西大学校デザイン学部

蔚山大学校デザイン大学(韓国)

日程:平成24年8月20日(月)～8月25日(土)
目的:学生・教員交流のため
派遣:学生10人・教員3人
佐藤 佳代 准教授
三枝 孝司 准教授
安齋 哲 准教授

■上海工程技術大学芸術設計学部(中国)

日程:平成24年8月25日(土)～8月29日(水)
目的:学生・教員交流のため
派遣:学生12人・教員2人
河地 知木 教授
百瀬 俊哉 教授

■忠南大学校経商大学(韓国)

日程:平成24年11月1日(木)～11月4日(月)
目的:学生間交流のため
派遣:学生28人・教員2人
三浦 弘次 准教授
高山 浩二 講師

■中国人民大学(中国)

日程:平成25年3月26日(火)～3月28日(木)
目的:学術・教員交流のため
派遣:教員1人
石川 泰成 准教授



蔚山大学校・東西大学校学生・教員派遣

今号の表紙

国際交流センター報のタイトルになっているJUNCTION(ジャンクション)とは、連絡点、接合点、交差点の意味があることから、人と人との交流を大切にしたいとのコンセプトに基づき、命名されました。

今号の表紙は、シュトゥットガルト造形美術大学(ドイツ)に派遣された井川真奈さんが、ベルリンで撮影した国会議事堂の写真です。また、表紙下の集合写真は、リバプール・ジョン・モーズ大学への派遣留学生4名が、英語のクラスの先生、クラスメイトと一緒に撮った写真です。

編集・デザイン／芸術学部デザイン学科 角 佳央理

発行／九州産業大学国際交流センター

〒813-8503 福岡市東区松香台2-3-1

TEL (092) 673-5588 FAX(092) 673-5611

注)掲載している職名及び学生の学年は平成24年度のものです。